

農地、水、環境向上活動 肥田町まちおこし推進活動がスタートしました



広 報

ひだ

町 木



第44号
肥 田 町
郷づくり委員会
H19.8.18発行



ヒメイワダレソウ 植苗作業

本年4月の「広報ひだ」で自治会長より「まちおこし推進運動」の実施宣言がなされ、先ず自治会、改良組合、生産組合、まちづくり委員会などヨコの関係を密に、従来の継続的な年間計画にこのたびの提案を加えて、中期的な考え方を注入したプランを相互が確認して愈々行動に移ることとなりました。

今日の肥田町では、百年の思いを込めた圃場整備事業が平成18年度より実施段階に入り、平成22年に完成が予定されているという特別な町環境にあつて、このたびの運動は正に時を得た並行事業と受けとめ、その成果を勝ち取るためにもその計画策定から点検管理、実践活動と町内各団体の横断的な連携が一番のポイントと理解し進めて来ております。

現在、農地、水、環境向上の運動の基本となる農地、農業用水などの資源の適切保全管理に始まり、濁水ゼロへの挑戦から水質保全への具体的な一つ一つの取り組みが進められています。今日までも年2回実施の町民総出の宇曾川堤防2キロにわたる草刈り、ゴミ収集の整備作業も環境美化にとどまらず、これからの新しい水源施設や水路とも密接に関連しており、また圃場整備作業の進めら

れた新しい用水路、排水路等を、これからどう長持ちさせて行くかの取り組みも含め重要課題と受け止めています。もう一つの視点として、次世代につながる心なごむ田園景観づくりがあります。

ここでは早速に手掛けなくてはならないこととして、第一期圃場整備工事を完了した上田地区を対象に農業用水路に面した側壁全長250メートルについて、畦畔の崩れを防ぐことと雑草の繁茂を防ぐことを目的として雑草抑制芝草の採用であります。既に試みておられる改良区の見学など色々勉強を重ねてヒメイワダレ草を選び、早速に6月17日に800苗の植苗作業を自治会、改良組合、生産組合、農業委員と、まちづくり委員会の役員など大勢が参加して行いました。今後はこの試みの経過を確認して他の地域にも広げる緑化計画の推進を考えています。一方で、豊かな田園の生きものを育てようの課題については、昔懐かしいホタルの飛び交う町の再現は出来ないかの声に応え、実際にホタルを養殖しておられる甲良町の方の宅にも研修に伺いましたが、肥田の町は現在圃場整備作業の真っ只中であつて養育に大切な水環境が整っておらず、今後も継続課題としていきたいと思っております。

当面、これからの一年は、総てに点検管理を怠らず、その過程の中で、まちおこしへの肥田町らしい新しい展開の糸口を皆で見つきたいと考えています。皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

肥田町

まちおこし

推進協議会



宇曾川堤防草刈り作業

「はじめましてよう介護予防」

いづれでもこの町の家です
すてすために

肥田町福寿会 ふれあい講座

7月26日に「彦根市在宅介護支援センターいなかえ」の村上佳子さんをお招きし、今日日常でもっとも関心事である介護予防について皆で考えようの集いが開かれました。なるほど身近に抱えている問題だけに50名からの会員さんが参加、分かり易い説明に共感して、よし、明日からでもその一つ一つを心掛けたいとの気持ちの伝わりを得られた講座でありました。



とかく私も高齢者は、自分たちが元々抱えている病気、生活習慣病には何としても日常生活で気にし過ぎるくらいです。でもこれからは生活習慣病もうまくコントロールしながら、一歩前に出て、将来に寝たきりなど介護が必要な状態にならないように、心身の衰えの予防や回復への取り組みも日々大切に努めています。そういう提言でありました。それぞれが自分出来る範囲で、運動機能の向上、低栄養にならないような食生活、忘れがちな健康の基本である口内の

清潔化、ケアの常習化など総て、しっかりと習慣づくりへの努力が心身の老化を確実に予防出来るかと極めて具体的な例を挙げていただき勉強出来ました。

またヨコのつながり対話を積極的に心掛け、認知症やうつ予防への対応も忘れないようにしましょう。

座って出来る1日5分の筋トレニングの実習の場面では、皆さん「私はまだまだ元気だ」を発揮しようと熱気の溢れたムードで幕、続けることが一番大切、明日から頑張ります。

滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全対策協議会

